

- 問1 明治政府の重鎮である大久保利通が、1873年に内務省を設置して自ら初代内閣卿に就任し、強力に政治を推し進めた背景にある考え方として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 武士の特権を維持することで、地方での反乱を未然に防ぎ、不平士族の不満を解消しようと考えた。 | 2. 国民の声を広く政治に反映させるため、速やかに国会を開設して政党政治を確立する必要があると考えた。 | 3. 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。 | 4. 天皇を中心とした中央集権体制を固めるため、廃藩置県を断行し、江戸時代の幕藩体制を完全に否定しようと考えた。 |
|--|---|--|--|
- 問2 明治政府の有力者に関する説明として正しい人物を選びなさい。この人物は岩倉使節団の一員として欧米諸国を視察して帰国した後、政府内で対立した西郷隆盛らの「征韓論」に反対しました。その後、内務省を設置して初代の内務卿となり、日本の近代化を目指して殖産興業政策を強力に推進しました。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 伊藤博文 | 2. 木戸孝允 | 3. 板垣退助 | 4. 大久保利通 |
|---------|---------|---------|----------|
- 問3 1871年に実施された廃藩置県により、明治政府は中央集権体制を確立しようとしてしました。この際、新たに設置された府や県を統治するために行われた措置として正しいものはどれですか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 旧藩主をそのまま知事として世襲させ、各地域独自の法律による統治を認めた。 | 2. 各府県の住民による直接選挙を実施し、公選によって選ばれた代表者に統治を任せた。 | 3. 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。 | 4. 地方の有力な士族の中から話し合いで選出された人物を、臨時の地方官に任命した。 |
|---|--|--|---|
- 問4 1871年に実施された地方行政制度の改革において、明治政府が中央集権体制を強固にするために、旧藩主に代わって中央から各県へと派遣した役職を何といいますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 守護 | 2. 將軍 | 3. 藩主 | 4. 県令 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問5 明治政府が、生活様式の西洋化を伴う「文明開化」を推し進めた理由の一つとして、当時の外交上の目的をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 牛肉の消費を促進することで畜産業を盛んにし、それによって得られる税収をすべて軍備増強の資金に充てるため。 | 2. 江戸時代以来の伝統文化を完全に否定することで、旧幕府勢力の支持を失わせ、新政府の権威を絶対的なものにするため。 | 3. 西洋の宗教であるキリスト教を国教として採用することで、欧米諸国と全く同じ価値観を持つ国をつくるため。 | 4. 西洋の文化を取り入れることで、日本が近代的な文明国であることを諸外国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 |
|---|--|---|---|
- 問6 明治政府が、税の基準を「収穫量」から「地価」へ、納入方法を「米」から「現金」へと変更した最大の理由は何ですか。 (2024年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|---|--|--|
| 1. 全国各地で発生していた、屯田兵による土地の奪い合いを解決するため | 2. 農民の負担を江戸時代よりも大幅に減らすことで、新政府への支持を集めるため | 3. 天候による豊凶に左右されことなく、毎年の国家財政の収入を安定させるため | 4. 廃藩置県によって職を失った武士たちに、新しい土地を効率的に配分するため |
|-------------------------------------|---|--|--|
- 問7 1867年、徳川慶喜が二条城において政権を朝廷に返上することを表明したあと、倒幕派の公家や薩摩・長州兩藩の主導によって発せられた、天皇を中心とする政治体制の確立を宣言した命令を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-------------|---------|
| 1. 五箇条の御誓文 | 2. 廃藩置県 | 3. 王政復古の大号令 | 4. 版籍奉還 |
|------------|---------|-------------|---------|
- 問8 明治維新の改革の一つである「版籍奉還」の内容を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 武士に与えられていた家禄などの特権を廃止し、軍隊や官吏の給与を整えた。 | 2. 藩主が持っていた領地と領民を天皇に返し、旧藩主は知藩事に任命された。 | 3. 藩を完全に廃止して新たに県を設置し、中央政府から府知事や県令を派遣した。 | 4. 土地の所有権を認めるとともに、地価の3%を税として現金で納めさせた。 |
|--|---------------------------------------|---|---------------------------------------|
- 問9 1877年の西南戦争において、平民を中心に組織された明治政府軍が、軍事の専門家であった士族の軍勢を撃破したことは、当時の社会に大きな影響を与えました。この背景にある、1873年に出示された軍事制度に関する法令は何ですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-----------|-------|
| 1. 廃藩置県 | 2. 徴兵令 | 3. 地租改正条例 | 4. 学制 |
|---------|--------|-----------|-------|
- 問10 明治政府が実施した地租改正において、税を納める際の基準と方法の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1. 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める | 2. その年の収穫高を基準とし、現金で納める | 3. 土地の面積を基準とし、米などの現物で納める | 4. 土地の価格（地価）を基準とし、米などの現物で納める |
|--------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------------|
- 問11 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 自由民権運動 | 2. 文明開化 | 3. 殖産興業 | 4. 富国強兵 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問12 1867年の大政奉還から1881年の国会開設の約束に至るまでの明治時代初期において、政府が産業の近代化を推進するために、フランスの技術を導入して群馬県に設立した施設を次から選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| 1. 八幡製鉄所 | 2. 長崎造船所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 南満州鉄道株式会社 |
|----------|----------|----------|--------------|
- 問13 明治政府は、欧米の新しい技術を導入し日本の産業を育成するために「殖産興業」という政策を推進しました。この政策の一環として、西洋の機械や技術を導入し、民間に広める手本とするために全国各地に設立された政府直営の工場を何といいますか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|---------|---------|-----------|
| 1. 座 | 2. 株式会社 | 3. 国立銀行 | 4. 官営模範工場 |
|------|---------|---------|-----------|
- 問14 明治時代初期の教育制度に関する説明として、当時の建築的特徴や制度の背景をふまえたものとして最も適切な記述を選択してください。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 江戸時代の寺子屋や藩校の教育内容をそのまま継承することを目的とし、伝統的な和風建築による校舎の整備が全国で進められた。 | 2. 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。 | 3. 個人の尊厳と真理の探究を目的として戦後に制定され、義務教育の期間を6年から9年に延長することが定められた。 | 4. 天皇に対する忠誠や愛国の精神を教育の基本とするために発布され、全国の学校で道德教育の柱として活用された。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 欧米諸国に対抗するため、国内の治安維持と産業の育成（殖産興業）を一体化して推進する必要があると考えた。	大久保利通は、岩倉使節団でイギリスなどの先進国を視察した経験から、日本の独立を維持するためには内政の充実（富国）が最優先であると判断しました。そのため、警察権を握ることで国内の混乱を抑えつつ、政府主導で鉄道や通信、官営模範工場を整備する「殖産興業」を強力に実行するための拠点として内務省を機能させました。
問2	答え 4 大久保利通	岩倉使節団で欧米の圧倒的な国力を目の当たりにした大久保利通は、当時の日本にとって最優先すべきは外交問題（征韓論）ではなく、内政の整備と産業の育成（殖産興業）であると考えました。彼は内務省を創設して事実上の政府トップとなり、富国強兵に向けた基盤を築きました。
問3	答え 3 中央政府から直接任命された府知事や県令を現地に派遣し、行政を行わせた。	明治政府は、それまでの藩を廃止して府と県を置く「廃藩置県」を断行しました。これに伴い、旧藩主が地方を治める仕組みを改め、政府が直接任命した官吏である「府知事」や「県令」を中央から派遣することで、全国の情報を政府が把握し、命令を直接行き渡らせる中央集権的な統治体制を築きました。なお、住民による直接選挙（公選知事）が導入されるのは、第二次世界大戦後の日本国憲法下の改革を待つことになります。
問4	答え 4 県令	廃藩置県によって、それまで土地や人民を支配していた旧藩主（知藩事）は東京へ移住させられました。代わって中央政府から派遣された官吏は「県令（現在の知事にあたる役職）」と呼ばれ、政府の方針に従って各県の行政を担いました。これにより、地方の支配権が完全に中央政府の手に握られることとなりました。
問5	答え 4 西洋の文化を取り入れることで、日本が近代的な文明国であることを諸外国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、江戸時代末期に結ばれた不平等条約の改正は最優先の外交課題でした。欧米諸国から「対等な交渉相手」と認められるためには、法制度の整備だけでなく、社会全体が西洋並みの「文明」を備えていることを証明する必要がありました。そのため、政府は鹿鳴館などの施設を建設し、生活習慣の西洋化を対外的なアピールの材料としても利用しました。
問6	答え 3 天候による豊凶に左右されことなく、毎年の国家財政の収入を安定させるため	明治政府が富国強兵や殖産興業といった近代化政策を進めるためには、巨額の資金が必要でした。しかし、米による納税では豊作や凶作によって毎年の税収が激しく変動し、計画的な予算編成が困難でした。地価を基準とした金納化（現金で納めること）を徹底することで、政府は農作物の出来不出来に関わらず、毎年決まった額の税収を確実に確保できるようになりました。
問7	答え 3 王政復古の大号令	大政奉還によって政権が朝廷に返されたことを受け、江戸幕府を完全に廃止して天皇を中心とする新政府を樹立するために出されました。これにより、摂政や関白といった従来の官職も廃止され、新たに総裁・議定・参与の三職が置かれることになりました。
問8	答え 2 藩主が持っていた領地と領民を天皇に返し、旧藩主は知藩事に任命された。	藩主が領地（版）と領民（籍）を天皇に返還したあとも、旧藩主は「知藩事」として引き続き各藩の統治にあたりました。この時点ではまだ藩の仕組み自体は残っていましたが、後の「廃藩置県」によって藩そのものが廃止され、中央集権化がさらに徹底されることとなります。
問9	答え 2 徴兵令	政府は1873年に徴兵令を施行し、身分に関わらず満20歳以上の男子に兵役の義務を課しました。西南戦争において、この徴兵された国民軍が特権意識を持つ士族を武力で圧倒したことは、士族の武力による抵抗の限界を証明することとなりました。
問10	答え 1 土地の価格（地価）を基準とし、現金で納める	明治政府は、江戸時代の年貢のように収穫量に応じて米を納める仕組みを改め、土地の所有権を認めたとうえで、その土地の価値（地価）を基準に一定の税率で現金（金納）を納めさせる制度を確立しました。これにより、政府は土地所有者に直接納税の義務を負わせ、国の財政基盤を近代化することを目指しました。
問11	答え 2 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広がりました。
問12	答え 3 富岡製糸場	明治政府は輸出産業の柱であった生糸の品質向上と増産を目指し、1872年に官営模範工場として富岡製糸場を設立しました。フランスから技術者を招き、最新の機械を用いた製糸技術を全国に広める役割を果たしました。なお、八幡製鉄所は日清戦争後の賠償金をもとに設立された重工業の拠点であり、時代背景が異なります。
問13	答え 4 官営模範工場	明治政府は、欧米諸国に対抗できる国力を作るため、近代産業を育成する「殖産興業」の政策を掲げました。その具体的な施策として、フランスなどの最新技術を取り入れた官営模範工場を建設し、そこでの技術を民間へ普及させることで日本の工業化を主導しました。群馬県の富岡製糸場はその代表例です。
問14	答え 2 「国民皆学」の理念のもとで近代教育が推進され、長野県の旧開智学校のように和洋折衷の「擬洋風建築」を用いた校舎が建設されるなど、近代化の象徴となった。	1872年に発布された学制により、日本各地で近代的な教育を受けるための学校建設が進められました。その際、伝統的な日本の大工技術に西洋風のデザインを取り入れた「擬洋風建築」と呼ばれるスタイルの校舎が造られ、長野県の旧開智学校はその代表例として知られています。当初は授業料の負担が重く、反対一揆が起こることもありましたが、政府は国民皆学を強く推し進めました。